

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



### ■ 男女共同参画宣言都市になりました

9月29日、JR厚狭駅新幹線口近くの文化会館で、内閣府と共催の男女共同参画宣言都市記念式典を開催しました。全国では既に100を超える都市が宣言都市として趣向を凝らした様々な事業に取り組んでいますが、山陽小野田市は、山口県で宇部市に次ぎ、2番目の宣言都市となり、当日は、宇部市の久保田市長も激励に駆けつけてくれました。たくさんの市民に参加していただき、会場の参加者全員で唱和した宣言文は次のとおりです。

#### 山陽小野田市男女共同参画都市宣言

山陽小野田市は、歴史ある自然豊かな先人の偉業を受け継ぐまちです。

わたしたちは、このまちを誇りとし、女と男、誰もが自分らしく生きがいを持って輝けるまちをめざし、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

一、めざします。女と男、互いに認め、互いに良さを引き出して、あらゆる分野に対等に参画するまちへ

一、めざします。女と男、喜びと責任を分かち合い、支え合い、協働するまちへ

一、めざします。女と男、互いに自分らしく輝ける、未来につながるまちへ

平成24年9月29日 山陽小野田市

みなさんいかがでしょうか。

共催者である内閣府の高村静さんの報告（男女共同参画の現状と課題）のあと、今年の「女と男の一行詩」入賞作品が発表され、それを受けて県の男女共同参画審議会委員等でご活躍中の岸かおるさん（岩国市在住）が、入賞作品の鑑賞を兼ねた講演をしてくださいました。

最後に、県認証の「やまぐち男女共同参画推進事業者」の職場における取り組みについて、4つの事業所から各1名（いずれも女性）と宇部フロンティア大学教授相原次男さんが、実践の紹介と感想などを述べてくれました。



認証事業者は市内に全部で6社。今回はその内4社が職場での様々な取り組みを紹介してくれましたが、女性が責任ある指導的立場で活躍している様子をいろいろ知ることができて、大変嬉しくなりました。時代の変化を大きく感じたところです。

対話の日

10月25日(木) 19:00～  
保健センター

11月27日(火) 19:00～  
市役所 大会議室